

と し ょ が ん 宇 治

No. 15

1988年6月1日 発行

宇治市中央図書館

宇治市文化センター内

〒611

宇治市折居台1丁目1番地

電話 (20) 1511



私と読書

宇治市図書館協議会
会長 林 一文

私が中学生の頃、「君達、新聞はいっぺんに十行ずつ読むものだぞ」と担任の先生に言われてびっくりしたものである。

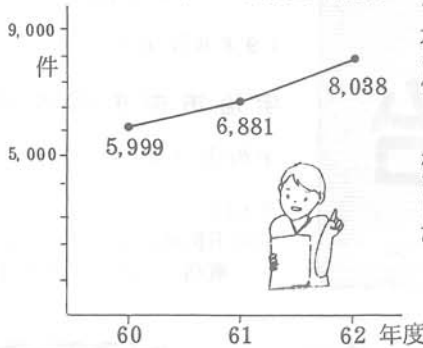
以来、ひろい読み、速読、精読、積ん読、と対象に応じて、それぞれの読み方をしていく。仕事柄、教育関係図書を読むことが多いが、小説等も結構楽しんでいく。

読書の楽しみと言えば、本を探す楽しみに始まり、買う・集める楽しみ、そして読む楽しみへと深まるのが普通である。けれども今の私は探す楽しみを半分放棄して、選択の責任の一部分を他人にまかせている。つまり新聞・雑誌の書評や読書案内に頼る場合が多い。それでも、探す楽しみを少しでも味わうために、書店の本棚からいろいろと手に取るように心がけている。

中央図書館は開架式であり、書棚の間もゆったりしている。そのため落ち着いた雰囲気の中で、お目当ての本を探す楽しみを十分味わうことができるのである。

ところで、私は十行読みが今だにできない。「学びて思わざればすなわちくらし、思いて学ばざればすなわちあやうし」と、中学生の頃に学んだ論語の言葉を大事にしながら、読書に親しんでいる。更に、読む楽しみと集める楽しみを求め、時間をかけて探す楽しみを味わいたいものである。

予約・リクエスト処理の件数



予約・リクエスト件数さらに増加!!

— 62年度は 468,362 冊の貸出し —

館で本を借りられました。

★ 貸出冊数は四・五%の伸び!!

昭和六十二年年度の一年間に貸出された本は四六八、三六二冊です。これは本館三七三、〇四二冊、移動図書館九五、三三二冊の合計で、前年度に比べ、四・五%の増加となりました。市民一人あたり二・七冊の本が貸出されたことになりました。本館の場合、一日平均にすると、二八六冊の貸出しがあり、一年間のべ一五二、五九〇の方が図書

ベストリーダー

文学(小説・エッセイ)			利用回数
1	座席急行「津軽」殺人事件	西村京太郎	100
2	窓ぎわのトットちゃん	黒柳 徹子	89
2	知り過ぎた木々	赤川 次郎	89
4	北帰行殺人事件	西村京太郎	85
5	日本一周「旅号」殺人事件	西村京太郎	81
文学 以外			
1	ロンロンママの暮しのお楽しみブック	西村 玲子	35
2	おもろうて、やがて哀し	ミヤコ蝶々	33
3	袖すりあうも嫁姑	小林千登勢	30
3	すくするすくすむ快速家事	原田知津子	30
5	暮し上手の家事ノート	町田 貞子	29
児 童 書			
1	パーパババのふうせんりょう	アネット・チゾン	338
2	パーパババのジュースづくり	アネット・チゾン	263
2	パーパスとまいごのたまご	アネット・チゾン	263
4	ノントンぶらんこのせて	おおとも やすおみ	257
5	11びきのねことあほうどり	馬場のぼる	256

予約・リクエストの制度も一段と定着し、六十二年度は八、〇三八件(本館)の予約・リクエストがありました。利用者の方が読みたい本を可能なかぎり提供するという図書館の機能を最大限生かす、皆さんの期待にこたえていきたいと思えます。より一層のご利用をお待ちしています。

また、昭和六十三年三月末現在の本館の登録者数は三七、六七四人、移動図書館そよかせ号の登録世帯は一、七〇八世帯です。本館だけで見ると、市内人口のうち二一・八%の方が登録され、貸出券を持ってもらえることになりました。

★ 利用トップは「座席急行『津軽』殺人事件」!!

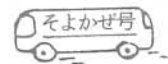
次に、「どの本が最もよく読ま

れたか?」をあらわすベストリーダーを見てみましょう。文学(小説・エッセイ)では昨年一位の「窓ぎわのトットちゃん」が第二位に落ち、代わりに西村京太郎の「座席急行『津軽』殺人事件」がトップ。以下、やはり赤川次郎や西村京太郎などの小説が依然として人気を保っています。それ以外では暮らしや家事にかかわる本がよく貸出され、児童書では相変わらず「パーパババ」シリーズのほか、「十一びきのねことあほうどり」にも子供たちの人気が集まりました。

今後とも「くらしの中の図書館」をめざして頑張りますので、よろしく願っています。

* * *

はしれ! そよかせ号



そよかせ号は、四月七日、二十五番目の駐車場として新設された羽戸山へ巡回を開始しました。新しい利用者

との出会いを楽しみにしながら、本を積みこんだり、案内のチラシを用意して、待ちに待ったその日でした。ところが、あいにくの雨。「はじめてで傘をさしてというのも大変だし、どれだけおいでになるかなあ。」と心配顔で待つうち、よいよ受付の時間になりました。バスに向って歩いて来られる人たちの姿を見つけて、ホッと安心。「こんにちわ」「どうぞ、こちらで手続きを」と案内にも思わず力が入ります。たちまち、車内は新しい利用者でいっぱい。お子さんと絵本を選んでいるお母さん方や、成人書の前でも思い思いの本を手にとっておられる人たちでこった返しました。やがて、貸出の手續を終えて最後の方が帰られると、予定の時間も過ぎていました。悪天候にもかかわらず、二十八世帯が登録され、一七三冊の本が貸出されました。これからは、どしどし利用者が増えることを願っています。

図書館へようこそ

利用者インタビュー

第 4 回

安藤典子さん



〈安藤典子さん(左)と光恵ちゃん〉

今回の「図書館へようこそ」は、木幡北山畑にお住まいの安藤典子さんと光恵ちゃん(五歳)にお聞きしました。光恵ちゃんは、月一回のおはなし会が大好きです。

— おはなし会へはよく来ていた
だいているようですね。
ほとんど毎月行っています。
— おはなし会について何か感想や、
ご要望がありましたら……。

絵本を読んでやると子供は喜びます。暖みのある人間の声で語ることはとてもいいことです。親が中に入るとザワザワするので、子供だけの入場はいいと思います。が、おはなし会のあとで子供と話をするために、次回のチラシにおはなしの題名を書いてもらったほうがいいのですが……。

— 光恵ちゃんは、おはなし会をどう思いますか。
— おもしろい。(その中でも)紙芝居がいい……。

— 家庭での光恵ちゃんは本を読まれますか。
— ほとんど自分で読みますが、読んでもらうのも好きですね。

— 図書館のご利用は……。
— 借りるのはほとんど子供の本です。そよかぜ号もよく利用します。

— 安藤さんにとって、図書館とはどんな存在ですか。
— 気楽に行けて、身近なものという感じがします。図書館で過ごすことは楽しいですね。

— 図書館に対してご意見がありましたらどうぞ。
— 図書館の場所が少し遠いですね。それと、貸出冊数を現在の三冊からもう少し増やしてもらえればありがたいのですが……。

— ありがとうございます。

さんぽみち

ある日の昼さがり、幼い女の子を連れ一人の婦人が図書館に入って来られました。図書館には、はじめて来られたのでしょうか、館内を興味深く見わたされ、開架室の中央に行まれて、おもわずおっしゃった独り言、——「まあ、すてきな図書館ね!!」——。貸出の窓口にはいた私、予期せぬプロポーズをうけたように、思わず顔をあげて「えっ……」。

「とってもすてき」というにはまだまだ不十分なところも多い図書館ですが、より多くの方に「すてきな図書館」といつてもらえるようにしたいものですね。

「すてきな図書館」という見方は、「本が多い」「専門書など各分野の本が充実」「児童書が充実」などの「質」と「量」の面から

らと、その人の「感性」によると思います。図書館が新鮮で質の高い本を多く所蔵するのは当たり前ですが、「感性」は誰も教えてくれるものでなく、自分自身で高めていくものでしょう。今の世の中、「感性の時代」ともいわれていますし、今後ますます「情報化社会」と「高齢化社会」が好むと好まざるにかかわらずやってきます。個人も図書館も、変化の波に対応すべく変化していくことではないでしょうか。また、かわらざるをえないでしょう。一日一日が勉強です。「すてきな図書館」をつくるためにも。

最後に、「すてきな図書館ね」と言われた奥様こそ、——「とってもすてきな奥様ですよ」——。



松居直氏(福音館書店会長)が講演

—— 今秋の読書週間記念講演会 ——

秋の読書週間記念講演会は、福音館書店会長で絵本評論家の松居直氏の講演に決まりました。松居氏は、月刊「こどものとも」

を創刊されたほか、多くの作品があり、こどもと本のかかわりについてお話しいただけます。詳細は次号でお知らせします。

郷土のはなし

太陽が丘

太陽が丘(山城総合運動公園)の面積は約百ヘクタール。そのうち約四十二ヘクタールが緑豊かな広大な自然林ゾーンです。昭和五十七年の一部開園以来、市民の憩いの場として太陽が丘は着実に利用が増えています。自然林ゾーンのうち遊びの森にはレクリエーション施設も設置され、ふるりの森や野鳥の森などは家族連れやグループで散策等を楽しむには絶好の場となっています。



<城陽側入口付近>

約五十八ヘクタールを占める運動施設ゾーンの中で、バレーボールなどのスポーツやイベントなど多目的に利用できる体育館が、六十三年一月にオープンしました。今年開催される京都国体では、このゾーンの中で競泳プールが水泳に、陸上競技場・球技場がサッカーに、そして野球場がソフトボールにと、それぞれの競技会場として使用されることになっています。太陽が丘までの交通は、京阪宇治・JR宇治駅あるいは近鉄大久保駅からバスが走っており、いずれも十五分から二十分で行くことができます。車での利用にあたっては、宇治市役所方面からの道路のほか、現在工事中の城陽方面からの道路が六十三年夏に供用開始されれば通行できる見込みです。この新しい道路は、大久保バイパスの国道二十四号線との交差点から太陽が丘に向けて東にのびる山城総合運動公園城陽線(府道)で、城陽や奈良方面からの交通はさらに便利になります。将来、個人の余暇時間はますます増えていくことが予想されます。心身の鍛練とともに生活を一層充実させるため、私たちの身近な施設として「太陽が丘」を大いに利用したいものです。

編集後記

今回から「さんぼみち」という欄を設けました。図書館で仕事をされる職員が日頃思っていることや感じていることを中心に

軽いタッチで述べていきたい、と思っています。皆さんの声も寄せていただき、「語りあう広場」となることを願っています。今年度より雑誌のタイトルが少し増えました。最新号以外貸出しますのでどうぞご利用を!

本をかりるには

一 利用案内

- 中央図書館
- 市内にお住まいの方、市内に通勤・通学されている方ならどなたでもかりられます。
 - 貸出は、1人3冊、3週間です。
 - 開館時間は、9時～17時です。
 - 休館日は、毎週月曜日・毎月末日 国民の祝日・年末年始 土曜・日曜もあいています。

- 移動図書館
- 月に市内25カ所を巡回しています。
 - 貸出は、1世帯に20冊までです。
 - 次回巡回日に返却して下さい。
 - 日時・場所は、毎月1日号の市政だより「そよかぜ号」巡回日程をご覧ください。

(中央図書館の場所)



京阪宇治 または 近鉄大久保から 「太陽が丘」 行バス乗車 「折居台口」 バス停 下車すぐ

予約・ リクエストもできます。

